

I 概要

【内政】

- 20日 国会開会及び独立記念日軍事パレード

【外交】

- 1日 元米英首脳の当国訪問
- 1日 オルギン外相のパナマ訪問
- 2～3日 メスキータ・ポルトガル観光長官の当国訪問
- 3日 オルギン外相のOAS外相会合出席（於：米国）
- 8日 オルギン外相の国連経済社会理事会出席（於：米国）
- 10～11日 オルギン外相のエルサルバドル訪問
- 15～17日 サントス大統領のBRICS・UNASUR首脳会議出席（於ブラジル）
- 21日 オルギン外相のエクアドル訪問
- 25日 サントス大統領のパナマ訪問
- 28～30日 安倍総理の当国訪問

II 本文

【内政】

1 国会開会及び独立記念日軍事パレード

20日、コロンビア独立記念日を迎えて軍事パレードが実施され、国会が開会した。軍事パレードには、1万人以上の軍人・警察官が参加し、朝鮮戦争退役軍人がパレードの先頭を歩いたほか、本年のパレードでは、女性及び平和に重点が置かれた。

国会開会挨拶においてサントス大統領は、和平交渉への支持を求めた。上院議長には、国民統一党のホセ・ダビッド・ナメが、下院議長には、自由党のファビオ・アミンが選出された。両議長ともに連立与党であり大統領選挙決選投票での得票に貢献した沿岸部の出身であった。

【外交】

1 元米英首脳の当国訪問

1日、サントス大統領は、カルタヘナにおいて、右派でも左派でもない第三の道の指導者とされる、ブレア元英国首相、クリントン元米国大統領、カルドーゾ元ブラジル大統領、フェリペ・ゴンサレス元スペイン首相及びラゴス元チリ大統領と会談した。出席した元首

脳達は、FARCとの和平交渉ができるかぎり早急に合意に達するよう要請するなど、和平交渉への支持を表明した。

サントス大統領は、他国モデルのコピーでないコロンビア発展のための独自モデルにつき協議するため、また第三の道が直面する目標につき分析するため、本件会合を開催した。

2 オルギン外相のパナマ訪問

1日、オルギン外相はパナマを訪問し、バレーラ・パナマ大統領の就任式に出席した。

3 メスキータ・ポルトガル観光長官の当国訪問

2～3日、メスキータ・ポルトガル観光長官が20社のポルトガル企業代表とともに、当国を訪問し、2日、オルギン外相と観光及び貿易につき協議した。

4 オルギン外相のOAS外相会合出席（於：米国）

3日、オルギン外相は、OAS外相会合に出席するため米国を訪問した。同会合においては、アルゼンチンの債務問題等が協議された。

5 オルギン外相の国連経済社会理事会出席（於：米国）

8日、オルギン外相は、国連経済社会理事会ハイレベル政治フォーラムに出席するため米国を訪問し、コロンビア政府による貧困及び不平等撲滅のための社会政策につき説明した。

オルギン外相は潘国連事務総長と会談したところ、潘事務総長は、サントス大統領の再選につき改めて祝意を表するとともに、FARCとの和平交渉に対して国連が支援する用意がある旨述べた。

6 オルギン外相のエルサルバドル訪問

10～11日、オルギン外相はエルサルバドルを訪問し、10日、マルティネス・エルサルバドル外相と文化財窃盗、盗掘及び違法輸出入防止に関する協定に署名した。11日、オルギン外相はサンチェス・セレン・エルサルバドル大統領と会談し、セレン大統領はFARCとの和平交渉への支持を改めて表明したほか、コーヒー部門における錆病対策及び商標戦略につき、コロンビアの支援を要請した。

7 サントス大統領のBRICS・UNASUR首脳会議出席（於ブラジル）

15～17日、サントス大統領はオルギン外相とともにブラジルを訪問し、16日、BRICS・UNASUR（南米諸国連合）首脳会議に出席し、新興国間協力及び持続可能な開発等につき協議した。

なお、サントス大統領は、ブラジル訪問中、以下の会談等を実施した。

（1）プーチン・ロシア大統領との会談

16日、サントス大統領はプーチン・ロシア大統領と会談し、プーチン大統領はFARCとの和平交渉への支持を表明した。また、サントス大統領は、ロシアのエネルギー関連

企業のコロンビア進出について期待を示したほか、ユーラシア経済共同体との協力の可能性についても関心を示した。

(2) ムヒカ・ウルグアイ大統領との会談

17日、サントス大統領は、ムヒカ・ウルグアイ大統領と会談し、左翼ゲリラとの和平交渉につき協議したほか、ラウル・カストロ・キューバ国家評議会議長と会談し、科学技術及び医療分野等での協力につき意見交換した。また、サントス大統領はマドゥーロ・ベネズエラ大統領と会談し、国境地帯における密輸問題等につき協議した。

(3) その他会合

同日、中国、伯、CELAC（ラ米諸国共同体）関係国（キューバ、コスタリカ、エクアドル及びアンティグア・バーブーダ）、南米諸国及び墨との首脳会合が開催され、サントス大統領およびオルギン外相が出席した。同会合では、平等、互惠、協力等につき話し合われた。

8 オルギン外相のエクアドル訪問

21日、オルギン外相はエクアドルを訪問し、パティニーニョ・エクアドル外相と二国間閣僚級会合の枠組のもと会談した。同会談において両外相は、専門的職業資格及び高等教育の学位につき相互承認する協定に署名した。

9 サントス大統領のパナマ訪問

25日、サントス大統領は、オルギン外相及びカルデナス財務・公債大臣、ロハス商工観光大臣、アコスタ鉱山・エネルギー大臣、及びピンソン国防大臣とともに、パナマを公式訪問し、バレーラ・パナマ大統領と会談した。議題の一部は、FARCとの和平交渉及び近く予定されているELNとの交渉開始についてであった。

10 安倍総理の当国訪問

28～30日、安倍総理が中南米歴訪の一環として、当国を訪問した。安倍総理はボリバル邸で献花をし、大統領府において栄誉礼を受けた後、サントス大統領と首脳会談を実施し、日・コロンビアEPAの早期合意を目指し、交渉を加速化することを確認した。また、日・コロンビア経済合同委員会に出席したほか、日系人との懇談を実施した。安倍総理夫人は、大統領夫人との懇談に加え、セレスエラ花農園視察、モスケラ市コミュニティ・センター訪問、ルイス・アンヘル・アランゴ図書館訪問を実施した。

日・コロンビア外交関係106年間の中で日本の総理大臣がコロンビアを訪れたのは初めてであった。

（首脳会談の概要は外務省ホームページ参照

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/la-c/sa/co/page4_000603.html>）

（了）